

令和7年12月25日

278号

北の療育

● **連載** 在宅重症心身障害児者に対する
北海道療育園の取り組み③／
旭川市医療的ケア児等
総合相談室の取り組み―／田邊まこと

北の療育 278号

● 巻頭随想

・ 職場と健康診断

～健診で自分を守る 家庭を守る 社会を守る～

————— 藤田三代子 ——— 1

● 連載 在宅重症心身障害児者に対する北海道療育園の取り組み ＜第3回＞

・ 旭川市医療的ケア児等総合相談室の取り組み ——— 田邊まこと — 3

● 滝川通園事業所「たんぽぽの家」の25周年記念式典を終えて

————— 木曾 賢一 — 9

● 第51回北療祭を開催して

・ 感謝がひらく、笑顔の花 ——— 土谷 英樹 — 13

● グラビア

・ 秋の活動紹介！美幌・びほろ・つつじの里／第51回北療祭／ — 18



● サンプルーム・夏から秋の療育活動

・ みんなで楽しんだ園外活動、四季の行事の様子

————— 北海道療育園 — 瀧川 拓磨 — 23

・ 利用者さんと楽しんだ行事、日中活動

～暑く長い夏 短い秋～ ——— 美幌療育病院 — 柏倉あゆみ — 25

● ファンタスカーがやってきた！

～美幌療育病院『夢水族園』開催～ ——— 下村 貴則 — 27

CONTENTS

2025.12

■ ワークセンターぴぼろ

● ぴぼろだより

・交流アジャタ大会・ファンタスターイベント参加・紅葉狩り 他 — 浦野 紘史 — 29

● あすなる通信

・ふれあい広場・美幌神社秋季例大祭 他 ————— 内田 久勝 — 31

● らせん

・言葉について：言葉で考えてみること

— 思考・理解・自己調整を支える言葉の役割 — ——— 西村 由秋 — 35

● アシスト・ケアの活動紹介 ————— 工藤 嘉延 — 37

● つつじの里だより

・花火、園庭レク、ハロウィンみんなで楽しみました！

————— 小野 恵／市場 有祐／岡田 拓実 — 39

● みち

・第62回重症心身障害児(者)を守る会全国大会に参加して — 齋藤 忠義 — 41
特定非営利活動法人 とらいあんぐる事務局通信

・重症心身障害児(者)を守る全国大会に参加して ——— 長野 聡幸 — 43
美幌療育病院父母の会事務局通信

・6年ぶりの全施連全国大会 ————— 植村 規 — 45
つつじの里利用者と歩む家族の会事務局通信

● ご厚意ありがとうございます

・寄付金一覧 ・物品寄贈一覧 他 ————— 52

・職員異動一覧 ————— 53

インフォメーション

- ・重症児を守る全国大会、札幌で開催！／旭川施設協主催の研修会で伊原厚生労働事務次官が講演 ——— 12
- ・第六療育課在園の堀内さんが売店で野菜を販売！／フィールドスタディで市内の高校生が来園！ ——— 17
- ・作業療法作品の紹介・番外編「すいか」作業療法グループ オシャレラビットの会 ——— 22
- ・大友福祉振興財団様の助成を受け医療用ベッドを購入／秋の環境整備を実施！ ——— 32
- ・コラム 谷川俊太郎の「五月に」と言う詩／蒔田明嗣 ——— 33
- ・ブックスタンド「南木佳土という作家について」 ——— 50
- ・第12回理事長杯・野球大会を開催！／院内保育所の園児がハロウィンを満喫！ ——— 51
- ・看護師さん募集！笑顔・いのちの輝き・かかわること。看護の原点がここにあります！ ——— 55

表紙Photo 秋の環境整備 北海道療育園開設当初より50年以上、春と秋の2回、職員、父母、ボランティアなどが集まり環境整備を行っています。なお、美幌療育病院など他の事業所でも実施しています。



職場と健康診断 健康で自分を守る 家庭を守る 社会を守る

藤田 三代子

皆さんは『健康診断の必要性・重要性』をどこまで意識されているでしょうか。毎年の恒例行事の1つとして捉えて、手元に届く結果票も気にしない、それとも結果票の数値を目にするまでドキドキされているでしょうか。私も若い頃には、気にもしませんでした。最近では年と共に、血圧は？ コレステロールは？ と気になるようになって来ました。

それでは何故、健康診断をするのでしょうか？ 多くの皆さんは、“決まっている” からとか “職場でやれ” と言われたから受けているのではないのでしょうか。私も考えた事は有りませんでした。職場の健康診断は “労働安全衛生法第66条で規定され、事業者が労働者の健康状態を評価して適切な就業上の配慮を行うとともに労働者自身が適切な健康増進のための取り組みに資することを目的に実施されます。” 事業者は健康診断の実施義務があり、“労働者は健康診断を受診する義務” があります。

美幌療育病院での健診の実態を見てみます。令和7年度春の健診実施人数は227名、20代以下21名、30代28名、40代73名、50代70名、60代以上35名でした。結果は、全体では、異常なし39名（17%）、経過観察95名（42%）、要再検査・精密検査31名（14%）、治療中60名（27%）と言う内訳でした。20歳未満では多くが異常なし・経過観察でした。30歳代でも75%が異常なし経過観察でしたが、21%の方が治療中で男性が目立ちました。40歳・50歳代でも同様で異常なし・経過観察は約半数、治療中が約1/4となっています。60歳以上では治療中の方は半数以上を占めました。人は年を重ねると病気発症の確率が上がってきます。若い人では異常を示す人が少なく、年を重ねると治療中の人が増えると言う結果もうなずけるものです。60歳以上の方で治療中の方はきちんと病気に向き合い治療をしているとも言えます。問題は30〜50歳代です。まず、“経過観察” ですが、こ

れには、①数値としては、「所見あり」にはなるものの、その人個人の特性や年齢などから（例…白血球数など）、余り問題にはならないと考えられるもの ②数値としては少し異常があるけれども、病気が疑われにくく経過観察で良いもの（例…更年期女性のコレステロール） ③数値としては異常を認めるが、継続してこのような状態か不明なもの（例…血圧・蛋白尿）と様々なものを含んでいます。自分がどれなのか、判断は難しいと思います。指摘された項目が生活習慣や食習慣を変えることで改善されるものであるのならば、是非生活を見直して、次回の健診に繋げて欲しいと思います。

次に要再検査・精密検査です。健診で異常を指摘され、病院を受診したものの、「たいした事ないのになんで来たの？」と冷たくあしらわれ、もう病院はかかりたくないと言う経験をした方も居るかも知れません。でも要再検査・精密検査を指示された時は、1回は病院を受診した方が良いです。自分では気づかないけれど、重大な病気が発見されたり、脳卒中や心筋梗塞などの恐ろしい病気の発症予防ができるかも知れません。20代からずっと数値が高いけれど、大丈夫だ”とか”家族の皆、数値が高いけど何でもない”と言うのは大きな間違いで、年齢が若いうちは症状が無くても、ある日突然に病気を発症し、後遺症を残したり、寝たきりになってしまいます。自分の体の自由が利かないだけでは無く、生活を支える仕事にも大きな影響を及ぼします。又、趣味や旅行など自分が楽しんでいた事も出来なくなり、生活の質も低下します。これは自分にとっても、家族にとっても、会社にとっても、社会にとっても大変不幸な事です。

当院の春の健診でも14%の人に再検査の指示がありました。2次健診では、異常なし4%、経過観察13%、要治療25%、未受診50%、無回答8%でした。約半数が未受診でしたが、治療中・今後受診予定・生活を改善し秋の検査結果を見てから等の返答がありました。ここ数年2次健診の促しをしていますが、毎年、要再検査の方が減ってきているように感じます。この取り組みを秋の健診でも継続していきます。

健康診断は1つのツールです。自分を守るのは自分だけ。健康診断を活用してより生き生きとした毎日を過ごしたいものです。

●ふじた・みよこ

美幌療育病院・副院長・医師